桑うへ付度もの苗木のぞミ次第わたし申
すべし仕立方くハしくわかるべし

桑仕立方（くハしたて） 全

五條御役所

原田繊維文庫
文庫4
698
原田繊維文庫
原田蔵書

早稲田大学圖書館藏書

文庫4 698

一

耕作と蠶ハ衣食の本にして百性の手ゟ出るなりかいこハ絹綿織物其外紬絹諸藝するまでこと／＼く糸より始りし事なれバ日本の中におゐて第一有用の利益多きハ桑此事也然るに今郷にて此かいこの利を失ふものハ田畑さ事にあらずやかいこハ桑にあらざれバ飼がたきこと志あらんものハまづ桑を仕立べし

桑仕立方　一こう木　一さし木　一実うゑ　一うゑかへ

一こう木ハよき桑を見立屋敷の内か畑の中に植置

昭和三十年十月二十九日第一商学部より移管

八十八夜前後桑の芽五分ほど出る時其元の桑の枝を片方へわせ押へ石を置土をかけ芽六七寸も出たる時分[illegible]の上土を掛六七寸の厚さにするそのとり木にしてる枝の先の芽ハ切さり其方の葉をつまみ切すてべし夫より芽出る芽より根生田土とそりそのうへ三四寸も肥しをかけ不断ぶかし置べし根のよく出る頃なりて手入おろそかにせねバ根の出る事なし去るにより木の芽出るのをまつべし又ほのかに切りてそれより枝芽出る処にて切すてべし桑の精を

根にまどひて其年の内に根ぶし出る也翌春彼岸時分
に根のきれぬ様に堀おこし其まゝ枝ごとに皆根出て有る
それを本より切はなし何分にも細くちらし一本づゝ
能ほどらに移し植土際より切すて根より出る芽一本
鉢入梅雨前後に下ごへをかけ新芽立たらば人糞に
てさきを留る前のごとく枝芽を切すてべし然ば随分水に
かゝりを付其の翌年彼岸時分に畑畔か庭か何色にても
も植置べし此法にてハ一本の葉十二三本宛
その親葉しぼみいらざるなど見苦なるべし

但さし木の苗ハ八十八夜頃よりよけれどもそれより梅入
てもよろし夜より秋迄も植つくるも時節におくれ
何も善悪にあらずひとへのあつくされバよろし
一さし木ハ入梅の間葉の芽を一ツより一本に五寸よろし
本へ赤土を玉を付土をやわらかにしてつくなをさし土
花壇にさしてハあまりつよくひにあてまじ
但手入ハ其の本に准ずべしされど芽も本と違ひ初め
より地ごしらへして能ほどに植ならべ根もつよく及
出芽とつまぎ根へからりと付る事なし翌く春の

彼岸時分に植置つぎ直し移し植べし
一実うへハよく〳〵熟したる実を取集ぬる時とりて
灰にもみまぜ地こしらへ幅二尺斗にし長さハいかほどなど
も実の多少にまかすべし畦を細かにし下ごへをかけよく
おし付て後切わらを掛平にし灰とまぜたる実を
うすくふりちらし其上へ田土をよく細かにしてうすく
ふりかくる也たとへば紙のうすきほどふりかくる也その上へ稲の
葉にても麦藁にても日の透間なきやうにかけ置べし苗芽生
出る時右のわらをとりて高さ一尺計にかけを

久仁

かくべし苗のたけ四五寸に成る時分灰を下ごへと
合せ施し付て細かにふりかけべし苗の生え揃ひ
別なる畑を細かにこしらへ移し植へ雨降後
けんみつて際より切すて置後根より新芽出五月
初より六月迄ハこやしをかけ丈ケ四尺にて先をとめ
木よくふとりを附て翌春植直し移植べし
一うへかへの仕様ハ苗方より葉をとりすて彼岸前に五尺
前に苗の丈ケ二尺斗に切根を少し残しそよくつき
へおせべし所に植たる根ごとむすび根とをふつけ日のあたる

らぬ根かしまそのうち植べし
桑を付まうらぬる事也
一桑の性肥地多くしかいこのおそくてハよく根を付まさるもの也
是より功者のよくて桑より換得る事なれども
ほぐきなるものにそだて芽のたまる実のおき芽のごとく
出る前よりまぬ葉をしんと用る時ハ甚てんかろく
一桑木仕立方二種あり一ツハ高木一ツハ根桑といふ高木
ハ根一本三尺又ハ五六尺を伸し立まそれより出る
小枝を年々切るもの也根桑ハ株の根を古際分切とる也

あらこうろう土の大木ハ格別なれども今より仕立るハ二様あり
高木根桑ともに土地の風によりて猪手の仕立る也
高木の利方ハ風をふせぎ下枝そだてぬ也しも又霜雪
にも根桑よりいたみうすしこれ等の手入も高木
一本ハ根桑五六本にも余るもわるき也又数ケ所の
手入と一本にするに志布をしされ九高木ハ本と木とのつる
一其人余滴根桑ハ損せずして植る九結句利方也ともいふ
但さかいこの性出桑をみて用ひバ頃えぬものなれど
一総て手よき根の仕立利方多きを桑種を仕立るうけ専要也

一かつて苗ハ寒暑にかまはず桑霜にあふて年々のたて
おさまるなるゆへわかき時枝先をかゝへて芽を切りとして根より
新芽出る事のなり根より出る芽ハよく切べし　さゝを
まじえの芽出るゆへなるべし

一すべて桑八十八夜より廿日程前に下ごへをとつてかけべし
芽の強めの時も霜ふらさるやうにすべし

一桑を切時双枝をよくとぎ桑枝の本より切とこのことぬ
根くすぐし芽出かしそもの意をそれへ接きてつく
新芽出るゆへなし又桑切ときハ根より出る新芽を除て
切りてそれ桑翌年根かれるもの也

一年々よりかつて苗をうつして桑不用のところも新芽とで
ふおく切捨るものなり一年たちされど又新芽出しあし

右ハ奥州福島野州結城の功者おくる
書面の内取抜書也

桑仕立方終

早稲田大学図書館
011488480113